

未来医療研究人材養成拠点形成事業
 選定事業の概要と推進委員会からの主なコメント
 [テーマB：リサーチ・マインドを持った総合診療医の養成]

		整理番号	B - 11
申請担当大学名 (連携大学名)	九州大学		
事業名	地域包括医療に邁進する総合診療医育成 ～九州大学総合診療科を活用した総合的臨床とヘルスサービスリサーチ 教育プログラム～		
事業責任者	大学院医学研究院臨床医学部門病態修復内科学分野教授 赤司 浩一		
事業の概要			
九州大学病院、医学系学府、関連医療機関が連携し、学部、初期・後期研修、大学院教育を通じて、包括的地域医療の中心を担う総合診療医を育成			
<ol style="list-style-type: none"> 1. 地域医療関連授業および臨床実習を系統化・拡充することによる、学部教育における動機付け 2. 後期研修・大学院に総合診療医コース設置。女性医師・専門医のためのインテンシブコース設置など、研修医教育に留まらない間口の広い教育体制 3. 総合診療科・小児科・救命救急センターを中心とした一般内科・小児科初期診療と一次～三次救急診療教育 4. 総合内科3講座の長期ローテートを柱にした総合内科学研修教育 5. 心身医学・老年医学・環境医学および医療経営・管理学専攻分野等大学院と九州大学病院リハビリテーション科による「ヘルスサービスリサーチ」教育 6. 地域医療研修を通して地域連携・病診連携教育 7. 九州大学病院総合診療科が以上の教育・研修を統合し「総合診療医コース」を運営 			
推進委員会からの主なコメント ：優れた点等、 ：改善を要する点等			
<p>歴史ある総合診療科のプログラムの充実に加え、ヘルスサービスリサーチという観点を加えた新しい取組は期待できる。</p> <p>学部から継続性のある教育プログラムである点で優れている。</p> <p>高齢者の診療にふさわしい教育プログラムが組み込まれている。</p> <p>達成目標、評価目標が期待される総合診療医像として事業にふさわしい。</p> <p>復職希望の医師を対象とした短期のコースの充実も期待される。</p> <p>既存のシステムと比較して新規性や独創性がより明確となるよう、更なるプログラムの構築に期待したい。</p> <p>各領域における専門的治療の必要性を遅滞なく診断でき、その後の治療を判断できる医師の養成が望まれる。</p> <p>在宅医療の教育プログラムの充実が望まれる。</p> <p>地域の医療ニーズに対応したリサーチ・マインドを持つという視点を設けることが望ましい。</p>			